

実施日程	実施校名
2022年9月28日(水)	愛媛県 西条市立小松小学校
2022年9月29日(木)	高知県 宿毛市立大島小学校
2022年9月30日(金)	高知県 高知市立城東中学校
2022年10月18日(火)	香川県 綾川町立陶小学校
2022年10月19日(水)	愛媛県 今治市立波止浜小学校
2022年10月20日(木)	香川県 東かがわ市立引田小学校
2023年1月31日(火)	大阪府 寝屋川市立北小学校



ひらかわのりゆき
平川 範幸
指揮

福岡県出身。指揮を下野竜也、大河内雅彦の各氏に、ピアノを田中美江氏に、音楽理論を中原達彦氏に、キャッチボールをおじいちゃんに師事する。また、パーヴォ・ヤルヴィの指揮マスタークラスを受講する。新日鉄住金文化財団指揮研究員、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団指揮研究員を歴任。

2016年度より現在まで、仙台ジュニアオーケストラ音楽監督を務める。福岡ソフトバンクホークスファン。給食の牛乳ジャンケンには積極的に参加するタイプ。テニスを習っていたが、サーブが絶望的に遅く、ほとんど相手のチャンスボールになる。AB型。



とくしまりかこ
徳島 理香子
司会・ナレーション

子供のころから歌うことが大好きで、大学では歌を学び、現在も修行中。色々な新しいことに挑戦したい思いから「にじいろの詩歌」の会を主宰し、最近はヨガにはまっている。一般社団法人社会と災害文化研究所理事、神戸音楽家協会会員。



おおさかこうきょうがくだん
大阪交響楽団
管弦楽

1980年「大阪シンフォニカー」として創立。創設者である、永久名誉楽団代表・敷島博子が「聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を！」を提唱。いつも聴衆を“熱く”感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」と評されています。2001年1月に、楽団名を「大阪シンフォニカー交響楽団」に、2010年4月「大阪交響楽団」に改称しました。2022年4月、新指揮者体制として、山下一史（常任指揮者）、柴田真郁（ミュージックパートナー）、高橋直史（首席客演指揮者）の3名が就任し、さらなる楽団の飛躍が期待されています。
楽団公式ホームページ(<https://sym.jp>)

知ってますか？

がついたちは
10月1日は
「国際音楽の日」です

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

れいわ ねんど

令和4年度

ぶん か げい じゅつ

文化芸術による

こども いくせい すいしん じぎょう

子供育成推進事業

じゅんかいこう えん じぎょう

—巡回公演事業—

おお さか こう きょう がく だん
大阪交響楽団
えん そう かい
演奏会

こう えん
オーケストラ公演



ぶん か げい じゅつ こども いくせい すいしん じぎょう じゅんかいこう えん じぎょう
「文化芸術による子供育成推進事業 —巡回公演事業—」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに美演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



文化庁

オープニング

○ジョン・ウィリアムズ 映画音楽「スター・ウォーズ」より メインテーマ

オーケストラ解剖

○なかむらたかし ~オーケストラの仲間たち~ 楽器紹介メドレー

バレエ音楽「白鳥の湖」

チャイコフスキーが作曲した三つのバレエ音楽、「くるみ割り人形」「眠りの森の美女」そしてこの「白鳥の湖」は、三大バレエとしてまたいへん有名です。しかしこの「白鳥の湖」は、ロシア・ボリショイ劇場で初演されたときは、大失敗に終わりました。初演の失敗に対し、チャイコフスキーの死後に行われた公演では大成功を収め、以後、バレエの代名詞ともいえる曲となりました。

白鳥に変えられたお姫様の物語

○ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー バレエ音楽「白鳥の湖」

- 情景(オーボエ)
●ワルツ

指揮者体験コーナー

- チャルダッシュ(ハンガリーの踊り)
●ナポリの踊り
●終曲(フィナーレ)

チャイコフスキー (1840~1893)



指揮者体験コーナー

“チャルダッシュ(ハンガリーの踊り)”を使って

がっきはいちず

楽器配置図 キーワードは“4”

ワークショップでもお話ししましたが、オーケストラの楽器は、弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器と4つの部分からなっています。下の絵を見ながら、次にどんな楽器が登場するかを想像してみてください。

弦楽器

オーケストラの中で一番人数が多いセクションです。ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバスの4種類の楽器が基本です。4つの楽器でオーケストラの基礎を成します。ハーブも弦楽器の仲間です。

●ヴァイオリンは、同じ楽器が、第1ヴァイオリンと第2ヴァイオリンとに分かれ、一番高い音域を担当し、常に華やかで目立ちたがり屋な楽器です。

●ヴィオラは、ヴァイオリンと同じ形ですが、一回り大きくなり、少し低い音を、柔らかく落ち着いた音色で担当します。

●チェロは、ヴィオラをさらに大きくしたので、もうアゴの下に挟んで弾けません。大人の人の声に一番近いと言われ、朗々とした暖かい音色でたっぷりのメロディを歌うことが得意です。

●コントラバスは、2メートル近くもある、弦楽器の中で、もっとも大きな楽器で、一番低い音を担当し、オーケストラをしっかり支えます。

木管楽器

フルート・オーボエ・クラリネット・ファゴットの4つの楽器が基本です。管の部分が木でできている楽器が木管楽器です。木管楽器はそれぞれ特徴的な音でオーケストラに彩りを与えます。

●フルートは、今では金属でできていますが、もともとは木で作られていました。フルートは“笛”という意味です。

●オーボエは、オーケストラの演奏が始まる前のチューニングで、その基本となる音を出す大事な仕事を担当しています。リードという葦の一種から作ったものを楽器に差し込んで音を出します。

●クラリネットは、オーケストラの中では新しい楽器です。といっても200年ほどたっています。オーケストラの歴史は450年ほどあります。ふくよかな音色で、小さな音もきれいに演奏できる特技があります。

●ファゴットは、イタリア語で“束ねる”という意味です。楽器を良く見てみると、木の管を束ねてあります。束ねた管をまっすぐつなげると、2倍以上の長さになります。みなさんの心を和ませる柔らかい音が特徴です。

打楽器

打楽器も大きく分けて4種類から成り立っています。木の打楽器、金属の打楽器、皮の打楽器、音階がある鍵盤の打楽器。ワークショップではみなさんの学校の音楽室にある楽器を使って、簡単にお話ししましたが、今日はオーケストラが使っている、たくさんの打楽器が目前にあります。さて、どの楽器がどの種類に入るかな？



金管楽器

ホルン・トランペット・トロンボーン・チューバの4つの楽器が基本です。管の部分が金属でできている楽器が金管楽器です。その音色から華やかさを演出します。

●ホルンは、動物の角からできた“角笛”がホルンに進化しました。実際に山々に響く“こだま”のように、雄大な表現に使われます。ほかの金管楽器とちがって、音が出るベルは後ろを向いています。これも馬に乗って後ろの馬に合図を送るための“角笛”の名残です。

●トランペットは、オーケストラの中で、もっとも輝く、大きな音が出る、花形の楽器です。ファンファーレなど、勇壮なメロディが得意です。金管楽器の音の出し方は、すべて同じで、マウスピースという吹き口に唇をあて、空気を振動させて、楽器本体を使って音を増幅させます。

●トロンボーンといえば、スライドで管の長さを伸び縮みさせて、音を滑らかに上下させる、グリッサンドという奏法が特徴的です。古くは、教会で重要な役割を果たし、“神聖な楽器”というイメージです。

●チューバは、どこにいるでしょう？みなさんから見て右側の一番後ろ、管楽器の隅っこにいます。10数キロもある、楽器の大きさが、ひときわ存在感を放っています。コントラバスと一緒に、オーケストラのもっとも低い音を担当します。